

- ・地域をデザインし、計画的・積極的に市民活動を推進する人材育成
- ・やねだんの芸術家を活用した体験活動の充実
- ・鹿屋体育大学と連携した幼児の体育能力向上の支援
- ・平成32年開催予定の国体に向けた、競技力向上対策事業

などにより、明るく住みやすい地域づくりや、地域を担う人づくりに取り組んでまいります。



▲ やねだんの芸術家の皆さん

次に「まち」が元気になるためには、安全で安心して暮らせる基盤づくりや、守り育てる環境づくりが必要なことから、

- ・災害時における避難所の機能強化

施策・事業の展開

このような市政運営の基本姿勢を念頭に、平成25年度は、次の8つの施策に基づき各種事業を展開してまいります。

市民の声と力を生かすまちづくり

私は、市政運営において、最重要視しているのは、まず市民の声を直接聴き、それを政策に反映することでありま

す。

このため、市民会議や地域再生会議などによる意見、市民目線を取り入れた事業構築及び行財政改革、市民の力に



▲ かのやばら園



▲ 串良町で開催された総合防災訓練

- ・防災行政無線の整備
- ・個人住宅のリフォームへの助成
- ・都市計画マスタープランの策定
- ・市内スポーツ施設の再配置計画の作成
- ・鹿屋市体育館の大規模改修などにより、安全・安心への取組や都市基盤の整備を推進します。また、
- ・E M菌の普及による畜産臭気軽減対策
- ・ごみ減量・リサイクル事業などにより、環境保全等にも取り組んでまいります。

さらには、近年、都市化の進展や営農形態の変化に伴う、保水能力の低下と、局所的な集中豪雨による道路冠水等が発生していることから、この課題解決に向けて、これ

よる共生・協働のまちづくりを推進してきました。

本年度は、更なるコミュニティ組織の充実・強化を図るため、

- ・各種市民会議等の継続実施による、市民の意見聴取・施策への展開
- ・市民活動団体等の企画提案による地域づくり活動への支援
- ・コミュニティ活動の基盤となる町内会の強化
- ・男女共同参画による活力ある地域づくりの推進
- ・「第2次鹿屋市集中改革プラン」の徹底
- ・「第2次鹿屋市職員定員適正化計画」に基づく総人件費の削減

まで以上に総合雨水排水対策として、全庁的・効率的に取り組んでまいります。

最後に、「産業」が元気になるためには、産業振興と雇用促進や、交流人口の増加促進に特化した政策が必要などから、

・6次産業化の推進による地域産業の振興や雇用の創出

・かのやブランド推進による農林水産物等の付加価値や地域イメージの向上

・肉用牛農家の経営安定と地元産牛肉の消費拡大を図るための助成

などにより、農林水産業の競争力強化に取り組むとともに、



▲ プロ野球選手による野球教室

・少数精鋭による行政サービスの向上を図るための職員の育成

- ・国や県等への職員の派遣研修や、地元の民間企業等との交流

などに取り組んでまいります。

併せて、平成25年4月から新たにコンビニエンスストアで、市県民税や固定資産税、国民健康保険税、市営住宅使用料、保育料などが納付できるサービスを開始します。

地域を元気にする産業づくり

活力ある地域産業の発展には、地域の資源や特性を生かした産業振興と、交流促進による地域経済の活性化が不可欠です。

国内有数の食料供給基地として、本市の特性を生かした持続可能な農林水産業の振興を図るため、

- ・「食育」や「地産地消」による健康で豊かな食生活の普及
- ・意欲のある担い手農家の育成・確保



▲ トップセールスによるイベントを大阪で開催

・かのやばら園のPRやイベントの開催による誘客促進

・商工業活性化による魅力ある商店街づくり

- ・スポーツ合宿まちづくり推進事業によるスポーツ交流の促進

などにより、にぎわいと活力あふれる産業づくりを実現します。

なお、スポーツ合宿まちづくり推進事業において、桜島の降灰や雨天時の対策として課題であった屋内練習場を、鹿屋体育大学が平成25年度から整備することとなりました。

本市においては、スポーツ

・肉用牛の高齢繁殖雌牛の更新促進

・「かのや紅はるか」の、苗購入や育苗施設整備の助成による産地化促進

- ・ヒートポンプの導入や利子補給によるスプレーギク栽培農家への支援
- ・「かのやかんパチ」の消費拡大に繋げるブルーツリーズムの事業展開



▲ かのや紅はるか

さらには、地域産業の活動を支援するため、

- ・内発型産業への支援による地場企業の育成
- ・誘致企業に対するアフターフォロー

などに取り組んでまいります。

商工業については、地域産業の再構築や、雇用の創出、地域経済の活性化を図るため、

- ・中小企業のビジネスマッチングによる経営基盤強化



▲ 5年に1度の全国和牛能力共進会（長崎大会）

や販路開拓

- ・安全安心な中心市街地としてのイメージを構築するための街路灯整備

などに取り組んでまいります。

また、交流人口の増加促進には、PR活動などの観光施策や、産学官連携による産業振興等の取組が必要ことから、

- ・かのやばら園を核とした各種イベントの開催
- ・大阪・福岡など都市圏での観光キャンペーン活動
- ・鹿屋体育大学と観光協会との連携によるスポーツ合宿等の誘致

などを進めてまいります。